

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 喜界島方言関係文献目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002435">https://doi.org/10.15084/00002435</a>

## 6. 喜界島方言関係文献目録

喜界島方言関係文献目録を作成するにあたって、以下の資料・データベースを用いた。

- ・ 日本方言研究会編 2005『20世紀方言研究の軌跡』国書刊行会
- ・ 国立国語研究所「日本語研究・日本語教育文献データベース」
- ・ 国立国語研究所「蔵書目録データベース」
- ・ 喜界島図書館所蔵・方言関係文献資料
- ・ 国立国会図書館のNDL-OPAC(蔵書検索・申込システム)
- ・ 国立情報学研究所のCiNii(NII論文情報ナビゲータ)

国立国語研究所「日本語研究・日本語教育文献データベース」は、国立国語研究所編集の『国語年鑑』と『日本語教育年鑑』採録の論文データを元に、新たなデータが追加されているデータベースである。おもに1950年以降の論文が収められている。

喜界島図書館所蔵・方言関係文献資料は、2009年9月に行われた喜界島方言調査の際に、現地で調査し、まとめたリストである。

2005年までの文献の検索は日本方言研究会編2005を利用し、それ以降の文献は国立国会図書館のNDL-OPAC(蔵書検索・申込システム)や国立情報学研究所のCiNii(NII論文情報ナビゲータ)などを利用した。また、文化庁委託事業の『危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究事業 報告書』(平成23年2月 国立国語研究所)の「消滅の危機にある言語・方言に関する資料一覧」も参照した。

- 岩倉市郎(1931)「風に関する喜界島の方言」『旅と伝説』4(10), 三元社  
岩倉市郎(1932)「喜界島における敬語法」『旅と伝説』5(2), 三元社  
岩倉一郎(1932)「嬰兒に対する最初の発音訓練」『南島談話』5, 三元社  
岩倉市郎(1934)「喜界語音韻概説」『方言』4(10), 春陽堂  
川原啓介(1954)「(ことば風土記)」『言語生活』39, 筑摩書房  
上村幸雄(1957)「奄美方言の一考察—喜界島阿伝方言の文法について—」『人類科学』9,  
九学会連合  
須藤健一(1971)「喜界島の親族組織」『日本民俗学』78  
岩倉一郎(1972)「喜界島に於ける敬語法」『沖縄文化論叢5 言語編』平凡社  
三原昌嘉(1973)「喜界島についての若干の記録」『奄美郷土研究会報』14, 奄美郷土研究会  
斎藤兼雄(1973)「喜界島語で見る万葉集巻一卷頭歌」『奄美郷土研究会報』14, 奄美郷土

研究会

- 輝 博元採録・解説(1974)「鹿児島県喜界島のむかしばなし(シリーズむかしばなしを求めて-7-)」『言語生活』275, 筑摩書房
- 輝 博元採録・解説(1974)「鹿児島県喜界島のむかしばなし-続- (シリーズむかしばなしを求めて-8-)」『言語生活』276, 筑摩書房
- 輝 博元(1975)「喜界島・荒木方言の名詞形態(1) — 「てだて」格・「しどころ」格について —」『島田勇雄先生退官記念 ことばの論文集』前田書店
- 輝 博元(1975)「喜界島・塩道方言における語尾母韻の取り換えによる語構成」『立正大学 国語国文』11
- 岩倉市郎著, 柳田国男編(1977)『喜界島方言集(復刻版)』国書刊行会(1941年初版)
- 内間直仁(1978)「喜界島志戸桶方言の文法」『琉球の方言』4, 法政大学沖縄文化研究所
- 中本正智(1978)「喜界島志戸桶方言の語彙」『琉球の方言』4, 法政大学沖縄文化研究所
- 森 豊良, 森 昭男(1979)『喜界島の方言集』喜界町
- 斉藤兼雄, 松本泰丈(1980)「喜界島大朝戸方言の動詞の活用おぼえがき」『奄美のことば: 奄美における自然・社会・文化に関する総合研究』(文部省科学研究費補助金研究成果報告書, 千葉徳爾(筑波大学))
- 輝 博元(1980)「喜界島・荒木方言の名詞形態論(2) ゆくさき・とき・あい手を表す格を中心に」『立正大国語国文』16
- 松本幹男(1981)「喜界島・上嘉鉄方言の縮小接尾辞-kaについて」『拓殖大学論集』133(土屋申一教授・下村治教授・鈴木四郎教授・稲垣貫一教授・遠藤六郎教授退職記念論文集), 拓殖大学研究所
- 松本泰丈(1982)「奄美方言の動詞結果相の問題点—喜界島大朝戸方言—」『琉球の言語と文化—仲宗根政善先生古稀記念—』仲宗根政善先生古稀記念論集刊行委員会
- 松本泰丈(1982)「琉球方言の主格表現の問題点—岩倉市郎「喜界島方言集」の価置」『国文学 解釈と鑑賞』47(9), 至文堂
- 輝 博元(1982)「喜界島の方言」『国文学 解釈と鑑賞』47(9), 至文堂
- 言語地理学定例研究会(1983)「琉球列島の言語の研究」全集落調査票用参考資料(喜界島)『沖縄言語研究センター資料』46, 沖縄言語研究センター
- 松本泰丈(1983)「他動詞と使役動詞の下位分類と相互関係--奄美喜界島方言のばあい」『国文学 解釈と鑑賞』48(6), 至文堂
- 輝 博元(1984)「喜界島・坂嶺方言の音韻」講座方言学10—沖縄・奄美地方の方言—』国書刊行会
- 崎村弘文(1985)「喜界島方言のアクセント体系」『鹿児島大学文科報告』21, 鹿児島大学 文科

- 松本泰丈(1986)「形容詞の語形のタイプから—喜界島方言のばあい—」『国文学 解釈と鑑賞』51(8), 至文堂
- 斉藤兼雄, 松本泰丈(1987)「喜界島のはなしことば資料」『国文学 解釈と鑑賞』(52)7, 至文堂
- 松本泰丈(1987)「人称代名詞をめぐって—奄美喜界島方言—」『国文学 解釈と鑑賞』52(2), 至文堂
- 松森晶子(1991)「喜界島のアクセント交替」『日本女子大学紀要. 文学部』41
- 上野善道(1992)『喜界島方言の体言のアクセント資料』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 上野善道, 西岡 敏(1993)『喜界島方言の用言のアクセント資料』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 崎村弘文(1993)「喜界島方言外来語彙のアクセント」『筑紫語学研究』4, 筑紫国語学談話会
- まつもとひろたけ(1993)「<シテアル>形おぼえがき 奄美喜界島(大朝戸)方言から」松村明先生喜寿記念会編『国語研究』明治書院
- 上野善道, 西岡 敏(1995)「喜界島方言の動詞継続相のアクセント」『琉球の方言』18・19, 法政大学沖縄文化研究所
- 西岡 敏(1997)「喜界島八月踊り歌テキストにおける音数律制約」『琉球の方言』21, 法政大学沖縄文化研究所
- 西岡 敏(1998)「喜界島方言における「未然形+まし」」『琉球の方言』22, 法政大学沖縄文化研究所
- 松浪久子(1999)「喜界島(鹿児島県大島郡)の民間神話」『大阪青山短期大学研究紀要』25
- 松本 幹男(2000)「沖永良部島方言と喜界島方言における中舌母音について」『語学研究』95, 拓殖大学言語文化研究所
- 上野善道(2002)「喜界島小野津方言のアクセント調査報告」『琉球の方言』26, 法政大学沖縄文化研究所
- 大野眞男(2002)「奄美方言における中舌母音の歴史的重層性」『国語学研究』41, 「国語学研究」刊行会
- 上野善道(2003)「喜界島方言の活用形のアクセント増補資料」『琉球の方言』27, 法政大学沖縄文化研究所
- 大野眞男(2003)「北奄美周辺方言の音韻の特徴--喜界島方言・瀬戸内町方言」『岩手大学教育学部研究年報』63
- 野原三義(2008)「喜界島方言助詞の研究」『南島文化』30, 沖縄国際大学南島文化研究所
- 松森晶子(2011)「喜界島祖語における3型アクセント体系の所属語彙 - 赤連と小野津の比較から -」『日本女子大学紀要 文学部第60号』

喜界島図書館所蔵・方言関係文献資料

- 森 元実(1978)『心のふる里—喜界島民謡集』私家版
- 政元 保(1981)『古語研究資料—喜界島方言ルーツ考』誠文堂
- 本田徹夫(1986)『喜界島騒動記』海風社
- 新民謡同好会(1987)『奄美の唄—新民謡同好会新作集(1)』私家版
- 台司三代二(1987)『小野津の年中行事』私家版
- 喜界町郷土教材開発委員会編(1989)『ふるさとのことわざ・言いつたえ(第1集)』喜界町教育委員会
- 喜界町郷土教材開発委員会編(1990)『ふるさとのことわざ・言いつたえ(第2集)』喜界町教育委員会
- 喜界町郷土教材開発委員会(1991)『ふるさとの民話・ゆらい・遊び(第3集)』喜界町教育委員会
- 徳山博良(1992)『奄美の民謡と物語り(その1)』尚美学園短期大学(「紀要原稿」)
- 嘉原カヲリ(1993)『マガンとさる(あまみ民話絵本1)』奄美民話の会
- 嘉原カヲリ(1994)『カラスとコーロ(あまみ民話絵本2)』奄美民話の会
- 田畑千秋(1994)『おおきなはなし(あまみ民話絵本3)』奄美民話の会
- 嘉原カヲリ(1995)『けんむんところみにゃ(あまみ民話絵本4)』奄美民話の会
- 盛 浩司(1995)『第2回奄美民謡の祭典—島々の唄心と道の島歌詞集』福盛堂
- 嘉原カヲリ(1998)『ゆむんどおりときちきゃ(あまみ民話絵本5)』奄美民話の会
- 新原健四郎(1998)『ワッシララー ワッシテーイカー シーユムイタ(忘れられない 忘れてはならない 志戸桶言葉)』私家版
- 中澤鶴子(1998)『わたしの喜界島』南日本新聞開発センター
- 盛山末吉(1998)『上嘉鉄の漁(はていとうぬいす)』私家版
- 英 啓太郎(1999)『喜界島・屋号・民俗(マグミー史話)』奄美共同印刷